

模 擬 授 業

実 施 報 告

学生企画責任者より

こんにちは、経済学部4年学生企画責任者の佐野です。夏休み後半の模擬授業を実施しました。今回は中学社会の地理歴史、そして高校の現代社会の模擬授業を実施しました。

それぞれの授業についての感想や評価を参加してくれた学生からいただきました。賞賛のコメントや、今後の授業者への期待を込めてのコメントがありました。

参加した学生の共通した感想は「ためになった」というものです。この文を読んだ学生は、まず授業を参観しにきてはいかがでしょうか？

学生企画責任者：佐野



【8月18日(木)】

＊経済学部4年(男子) 中学社会・歴史 『日本列島の誕生と縄文文化』

＊経済学部2年(男子) 中学社会・歴史 『黒船来航の衝撃と開国』

~~【8月22日(月)】~~ → 台風のため中止

~~＊経済学部4年(男子) 高校公民・現代社会 『経済のしくみ / 市場経済のしくみ』~~

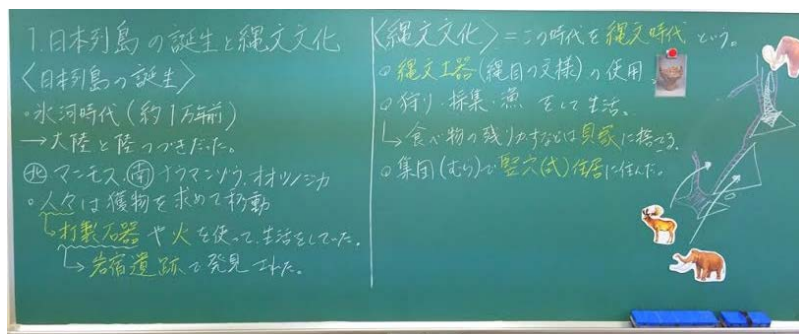
~~＊経済学部2年(女子) 中学社会・歴史 『大化の改新』~~

【8月25日(木)】

＊経済学部2年(男子) 高校公民・現代社会 『民主政治とは-民主政治の成立-』

＊経済学部4年(男子) 中学社会・地理 『オセアニア州/位置と季節・オセアニアの農業・鉱業の特徴』





＊経済学部 4 年(男子)

教育実習経験者

『日本列島の誕生と縄文文化』

今回の授業準備のために、上野の[国立科学博物館]と[東京国立博物館]を訪れて、マンモスなどの化石を見学し、縄文人の生活の様子を勉強し、教材研究に臨んだ。

時間に余白を残し、学生側と接する時間を多くとり、グループワークなどで課題にも取り組ませる授業を行った。



経済学部 2 年(男子) 中学社会 歴史

『黒船来航の衝撃と開国』

2 年生の模擬授業経験数としては、2 年生で 1 番多いだろう。今回の授業も、落ち着いていた様子でした。声の調子やトーン、話しかけ方など、実に心地よい授業雰囲気だった。

教科書の内容に沿って、要点をしっかりとおさえ、授業の流れもスムーズで本当に良かった。

板書がきれいというのは、参加した学生の共通の感想です。初めて黒板に書いた彼の板書から、現在の板書を見ると格段にレベルが上がっています！！



☆模擬授業参加者の感想☆

8月18日(木)

経済学部4年(男子) 中学社会・歴史 へのコメント

【日本列島の誕生と縄文文化】

経済学部2年 Hさん

→初めて佐野さんの授業を受けてみて、さすが佐野さんだと思います。縄文時代という時代は当時の人が文字で残した資料がないので、物での資料を使いながら佐野さんらしい引き込まれる授業でした。博物館での写真をもう少し使えと生徒にも大きさが伝わりやすいと思いました。マンモスなどの絵を貼っていたので、とてもわかりやすかったです！

経済学部4年 Nさん

→わかりやすく対象の中学生でも理解できる内容でした。生徒に投げかける問いのねらいがしっかりしていました。また黒板の板書もきれいにまとめられていて、見やすかったです。綿密に準備されていた授業でした。

経済学部4年 Kさん

→時間調節や生徒とのやりとりなど、その場に応じて変化させて、その対応をできるだけの準備と安定感がすごいと思いました。

また、最後の問いは授業全体を振り返りながら考えられるもので、復習としても、問いとしても話し合う内容としても、とても面白かったです。(中略)

欲を言えば、実際に訪れた授業者だからこそのできるような話(それを見て何を感じたか、どんな雰囲気だったのか等)を入れてみてもいいのではないのでしょうか。(中略)

全体を通して聞きやすく、考えやすい授業でした。それは授業者が聞いている側の何がわからないだろうかということを考え、何を相手に答えてほしいのか、言葉を明確にしてくれているからだと思います。勉強になりました。お疲れ様です。ありがとうございました。

経済学部4年 Mさん

→教育実習を乗り越えたということもあり、話し方や板書など細かいところまで気配りがされているという印象だった。導入からの本題へのつなげ方も自然で、スムーズに学習に取り組めた。

本題では当時の人々の生活スタイルを板書でまとめてくれたり、重要な縄文土器の役割を話し合いの中から考えさせたりと、楽しいけどきちんと学べる工夫がされていると思う。最後の問いは導入の話が関係しているなど流石だと驚いた。授業は計画通りにいかないもので、時間配分もその時の状況で変化する。今回は時間が余りそうだったけど、配った資料を説明したり、臨機応変に対応していて良かったと思う。

欲を言えば、博物館での写真をもう少し取り入れたら視覚的に面白いし、中学生は食いつくと思う。

※参加者からの模擬授業参加してみたの感想です。一部訂正・中略ご了承ください。

※授業参加者の感想が、今後の授業者自身への改善や自信につながることを願っております。

☆模擬授業参加者の感想☆

8月18日(木)

経済学部2年(男子) 中学社会・歴史 へのコメント

【黒船来航の衝撃と開国】

経済学部2年Hさん《授業者本人》

→夏休みに入って初めての模擬授業でした。しかも、初めての歴史の授業取り組むということで授業研究をいかに教科書に沿いながらリンクさせて楽しい授業をしようかと考えました。

やってみて、受けていた4年生の表情が一人一人違っていたりして、やっているほうは楽しかったです。ただ、難しい言葉を噛み砕いて書いたり説明するのは、とても重要であるということがわかりました。4年生だからといって少し引いてしまい、注意ができない部分が複数ありましたが次回以降は自分の生徒なのだという気持ちを持って注意できるような模擬授業をやっていきたい思います。

経済学部4年 Nさん

→教科書通りの授業でした。しかし問いのねらいがわかりませんでした。ペリーの写真資料があったので良かったと思います。少しは緊張するのかなと思いましたが、意外に緊張せず、スムーズに授業展開ができていて良かったと思います。

経済学部4年 Kさん

→とても板書が見やすく、ノートを取りやすい授業でした。授業を聞いていて、ノートを書きながらあれ？なぜだろう？と思っているところに絶妙なタイミングで「なぜだと思います？」という問いかけが授業者から入ってきて、どんどん授業の続きが聞きたくなり、あっという間に時間が過ぎてゆきました。その問いかけもグループでじっくり考えさせるところと軽く生徒とのやりとりとして取り入れるところとの使い分けがすごいと思いました。(中略) 豆知識が多くて、どれもすごく勉強になった。中でも条約を結んだ国の覚え方で『アオイフロ』に驚きました。もう二度と忘れないです!!

※安政の五カ国条約の5つの国の頭文字をとって『アオイフロ』アメリカ・オランダ・イギリス・フランス・ロシアの5か国

授業内で出た意見の拾い方もスムーズで凄いなと思いました。授業後の感想にも出ていたが、問いかける時に何を聞きたいのかを、もう少し明確にしていけると良いかと思うが、授業内にわからないと言われても慌てないで、しかも押し付けたりするのではなく、説明を加えたりして凄いなと思いました。個人的には、関税のところの説明をもう少ししてくれると嬉しかったです。

とにかく、面白くて思わずメモをとってしまう話が多くて勉強になりました。お疲れ様です。

経済学部4年 Mさん

→まず板書がすごく綺麗になったと思う。最初(模擬授業第1回目の際)見たときは、情報があまり整理されていなくて、ゴチャゴチャしているイメージがあった。でも今回はきちんとまとまっていて、とても見やすかった。字もきれいになっていたのも、そこも良かったと思う。

導入の部分で、当時の日本人が描いたペリーの絵を持って来ていたが、もう少し効果的に使えるのかなという印象だった。せっかくよく見るペリーの写真も準備したのだから、教科書に入る前に、2つの写真を見せて生徒側にコメントを求めても良かったのではないかなと思う。

本題ではペリーの来航に伴った江戸幕府の状況を見たが、出来事の流れがわかりやすく、幕府の信頼

が揺らいだ経緯がスッと頭に入ってきた。重要な出来事や領事裁判権・関税自主権など、重要な項目も抑えられていたと思う。ただ問いを投げかける時に、何を考えなくちゃならないか、こちらに伝わらないことがあった。問題の趣旨を明確にした方がいいのかなと思う。

授業者 H は、私より数段模擬授業慣れしていると思うし、教材研究に時間をかけていると思うから、この調子で頑張って！！

まだ2年生でこれだけ積極的に取り組める人は中々いないので、すごいと思った。

《学生企画責任者：佐野より》

この夏休みに行っている模擬授業は、単に授業をする練習だけではありません。授業内における生徒指導も含まれる部分があります。

例えば①教師が黒板に書いたものをノートに書いていない生徒(学生)への対応

②遅刻をして入ってきた生徒(学生)への対応

③班学習などで盛り上がり、話し合いの路線が脱線してしまった時の修正

等

実際、教育実習の際にも、上記に記した出来事に会うことがあるかもしれません。私は実習校で、こういった指導を時々行いました。

8月25日(木)



AV 機器が届きました！！

＊経済学部 4 年(男子) 中学社会 地理

『オセアニア州 農業と鉱業の特徴』

本時の授業は、最近届いた AV 機器を活かした素晴らしい授業でした。オーストラリアの地図や、農業の範囲についてはマクドナルドで使用されている農産物についての映像資料や、鉱業部門については、「露天掘り」と「坑内掘り」と視覚的説明に用いていた。

基本的に説明の際には、日本と関連付け遠い国のことにしない配慮があり、非常にわかりやすい授業となっていた。

授業者の資料の利用の仕方は素晴らしかった！

「オーストラリアの雨温図」や「端境期の説明資料＋グラフ」、「露天掘りの写真」などの、授業で重要な配布物となった。

→9 月に行う、教育実習ぜひ頑張ってください！！！！

8月25日(木)



←使われた教科書

↓授業後の反省会の様子↓



熱意があり志高い、学生による授業

＊経済学部 2年(男子) 高校公民 現代社会

『民主政治とは / 民主政治の成立』

本時の授業を執り行った学生は、夏休みの模擬授業企画をフル活用している学生である。もう何度も行っていることから、4年生よりもクオリティの高い授業になってきている。

本時は各単語の理解や、授業の準備は頑張っているようであった。「直接民主制」「間接民主制」の違いについて、具体的に数字を出し、学生側に理解してもらえるような取り組みも行われていて、実に工夫をこらした授業だった。

☆模擬授業参加者の感想☆

8月25日(木)

経済学部4年(男子) 中学社会・地理 へのコメント

【オセアニア州 農業と鉱業の特徴】

経済学部2年Hさん

→授業者は緊張していたと仰っていましたが、緊張が全く感じられず、ものすごく落ち着いた口調で授業をされていました。電子機器を使用して生徒の身近なところからオーストラリアとの関係を見たり、日本とオーストラリアの比較をすることで、どんな州であり、日本とどんな関係があるのかが分かりました。歴史の移り変わりや主要生産物の変化は、かなり興味深く、もっと学びたいと思いました。

経済学部4年Mさん(授業者本人)

→映像や画像をテレビの画面に映して、生徒側がそこに引きつけられるような工夫ができたことは良かったと思う。

最初の問いは目的や何を頼りに考えていくのかをもう少し丁寧に説明できれば良かったと思う。時間が押していたこともあり、十分な説明ができないまま進んでしまったような印象があったので、今後はそういうことがないように改善していきたい。

黒板の使い方もあまり良くなかったと思う。書いては消して、また書いては消しての連続だったので、あまりうまくまとまっていなかったなと感じる。

内容も詰め込みすぎた感じがある。時間的には52分と2分オーバーの授業だったのだが、説明が早口になってしまったり、先ほども書いたように説明が足りない部分もあったので、反省しなくてはならないと思った。もう少し要点を絞って、生徒がわかりやすいような授業を目指していきたい。



☆模擬授業参加者の感想☆

8月25日(木)

経済学部2年(男子) 高校公民・現代社会 へのコメント

【民主政治とは/民主政治の成立】

経済学部2年Hさん

→夏休みの前に地理、先週は歴史、そして今日現代社会と社会科の分野をすべて一回ずつやったこととなりました。

そして、初めて本を使わずに教材研究に取り組みましたが

うまくまとまらず自分自身が話す時間が長くなってしまいました。

先週に比べて板書もダメで文字でまとめようとしてかえって分かりにくくなってしまいました。

このことから図をうまく活用してそのなかで実際にやってみる

間接民主制の民意が反映されないという欠点をわからせるための工夫をしないといけないと思いました。

今日の授業は改善点がたくさんありいい部分はほぼありませんでした。

しかし、次の模擬授業では今回の改善をいかしてやっていきたいと思います

経済学部4年Mさん

→話し方や板書の書き方はずいぶん慣れたような様子だった。スムーズに授業を展開していて、生徒に板書を書く時間もきちんと与えられていて、余裕が出てきたなという印象を受けた。

ただ板書のまとめ方にもう少し気を使って欲しかった。タイトルにはかっこを付けて目立たせたり、書物の名前には二重かっこを付けるなど、もう少し分かりやすくする工夫がなされていると後々見やすくなると思う。

ただ難しい単元に挑戦していく姿勢はとても素晴らしいと思う。

コミュニケーション学部4年Sさん 本日の模擬授業の全体を通しての感想

→やる気のある学生が、頑張ってさまざまな工夫を凝らした授業を行っていました。

教科書や資料集だけではわかり

得ない情報を意外なところから持ってきており、とても勉強になりました。

学生企画責任者より

8月の段階で、4回の模擬授業を実施しました。回数を重ねることにより、参加した学生はかなりの成長をしています。後輩の中には、既に心身ともに夏休みで一回りも二回りも大きくなっています。現在教職ラウンジには、14個の席が設けられています。私は、やがてその席が「満席」になることを切に願っております。

※模擬授業実施の際、無断での欠席は止めてください。事前の連絡をして下さるようお願いいたします。

《9月 模擬授業申し込み状況》

月	火	水	木	金	土
			1 模擬授業	2 ～	3 ～
5 ～	6 ⓧ閉室	7 ⓧ閉室	8 模擬授業	9 ～	10 ～
12 ～	13 ～	14 ～	15 模擬授業	16 ～	17 ～
19 祝日	20 模擬授業	21 ～	22 祝日	23 ～	24 教育実習事前講義 (3年生対象)
26 ～	27 ～	28 ～	29 ～	30 ～	

9月 1日(木)・8日(木)・15日(木)・20日(木)

集合時間…10:45 授業開始時刻…11:00

※模擬授業実施者は、無断での欠席は控えて下さい。

→事前連絡を学務課及び学生企画責任者の佐野に連絡して下さい。

学務課 電話 042-328-7755

教職支援室 042-328-7899

佐野 TKU メールアドレス…13e0004@tku.ac.jp

場所…教職ラウンジ(1号館2階)

《学生企画責任者の佐野より》

・長いようで短かった夏休みも残りわずかとなってきました。楽しい夏休みは過ごせたでしょうか？さて、9月末からは、大学の授業が始まります。後期は模擬授業を実施する講義も増えてくるでしょう。その模擬授業の練習や相談に4年生の先輩をぜひ利用してください！力になりたいと考えています。講義内で行う模擬授業、いいものをつくり、披露したくはありませんか？

・後期の授業が始まる前に、「学生主体で行う模擬授業企画はどんなものなのか」、ぜひ見に来ませんか？和気藹藹とした雰囲気で行っています。